

「我々は人間力=心でシステムを創りたいと考えています」

平成11年に設立された(株)オーネストは産業系コンピューターシステム構築専門のプロバイダとして成長を続けています。その経営方針は明確で「常識は常に常識ではない」という代表取締役の大村博氏に話を伺いました。

○創業の動機

私は45歳まで大手の鉄鋼系企業でシステムエンジニアとして働いていました。その頃からメーカーのシステム提案に対して「一社で全ての設備に対応できていない」と不満を持っていました。日本のコンピューターメーカーはユーザーがハード面、ソフト面などにおいて最適なものを選ぶとすると数社に跨ってしまうのにそれに対応できないということで、一般の方にわかりやすく言うと家電を買うとき冷蔵庫はH社、テレビはS社、洗濯機はT社のものを買いたいのにH社と決めたら全てその会社のもので揃えなければならない、というようなことです。それはおかしいでしょう。ユーザーが欲しいものを選ぶのは当然ですから。

欧米ではそんなことはありませんし日本でもユーザーがメーカーを選ぶ時代から物を選ぶ時代がやって来るな、と思いました。そこで私は家電量販店のような一社で全てお客様に最適なものを提案できる会社を作ろうと考えた次第です。そんな会社がないのなら自分で作るしかないとして50歳の時に創業しました。

○事業内容について

高品質で最適な産業用コンピューターシステムを提案、見積もりから試運転調整、メンテナンスまで一貫したエンジニアリングサービスを提



供しています。お客様はうちに来て何を作りたいかを言えばそれを聞いていろいろなものの中から選んで最適なシステムを創って差し上げる訳です。外注はいいさいません、責任が持たないから全て自社で創ります。しかもそれらを“適切な価格”で納入することが重要です。従来のメーカーが提供するものは価格が非常に高くても私はおかしいと思っていました。

産業系システム構築の実績としては*電気・計装・制御システム関係*コンピューターシステム関係*エンジニアリング支援関係*システム老朽更新関係などがありますが、この辺もわかりやすい例を挙げるとごみ焼却・リサイクル・排水処理の監視制御システムやビルオートメーションシステムの開発といったものもその一つです。主要取引先も商社や鉄鋼、電機から製薬、化学、電力、ガス、エネルギー系など様々な分野にわたっています。これまで有難いことに順調に業績が伸び続けておりお客様のリピート率も非常に高くなっています。現在では需要が供給を上回っている状況です。ただ私は身の丈以上に受注しないと決めていて従ってお断りすることもあります。それは身の丈に合った仕事量を受け、それに向けて全力で取り組むことがお客様の満足に繋がると確信しているからです。

○企業の特徴

オーネストは産業用コンピューター技術者の集団で従業員は52名(うち44名が技術要員)です。創業時から年齢、性別、学歴に全く関係なく“何が出来るか”だけを基準に採用してきましたが給与においても明確な成果主義を取り入れています。これは従業員が自身のスキルアップに積極的に取り組むことを目的にしている、一つのスキルをマスターしたら5点というようにポイントを与え



企業情報

企業名 株式会社 オーネスト
代表者 大村 博
所在地 〒802-0077 福岡県北九州市小倉北区馬借2-6-6
TEL 093-512-6360
FAX 093-512-6325
URL <http://www.ohnest.co.jp>

それに応じて給与が上がるシステムにしています。うちでは給与全体を100点とすると40点が業務成績で残りの60点は各自の技術スパンなんです。なぜかというとな業務は会社からの指示でやられている事でしょう。それは自分の意思じゃない。組んだ相手が悪かったのかもしれない(笑)。自らの意思でスキルアップしていく者にはどんどんポイントを与えています。やればやるだけ給与に反映される、当然です。そしてスキル取得のためならどこへでも行かせるし、どんなことでもバックアップします。うちは管理職というものもありませんから不必要な人件費が掛からない分、人材育成に注げます。

現在女性社員は全体の4割いますが根性があるし仕事もよくできるので一大戦力です。女性がいなかったら会社はここまで成長していないですね。結婚して子どもを産んだ後も勤めてくれています。産休も一年あり、県から「子育て応援企業」として表彰されましたが単に優れた人材に辞めて欲しくないからです(笑)。その代わり(女性ということの)甘えは一切許しません。また、全員にリフレッシュ休暇を年に一週間以上取ることを義務付けており、取得者には2万円の助成金を支給しています。オンとオフ、メリハリをつけ休むときにはゆっくり休む、仕事は緊張感をもって集中してやる。何より健康でないと良い仕事はできません。

こういった会社はこれまでの社会の常識では考えられないものかもしれませんが常識とはいったい何でしょうか。私は時代とともに変化していくものだと思うのです。常識は非常識、非常識は

常識なのです。

○今後の目標

会社を設立して以来、掲げた経営理念(“お客様の満足度を得ることがすべてに優先する”)に基づき進んでまいりましたが10年を経て「お客様のためにシステムを創る」ということに対して「まだ何か欠けているのではないか」と考えています。システム自体は無機質なものですがそれを構築する我々も、発注し使われるお客様も人間です。人間は決して無機質ではありません。従って何か問題が起こったとき解決するのは“人間力”です。私はその人間力とは“心”であると思います。そこでオーネストの企業理念を“心でシステムを創る”に定め、今後いっそうお客様のために“良いシステム”を創りつづけたいと決心しております。

それと先の目標というか希望になりますが、このオーネストのような会社を連携させて協会を設立したいと思っています。というのもうちのような会社は日本にはまだほとんどなくてテリトリーも国内だけでなく中国、韓国、台湾と広がってきているのですが、一社だけではとてもさばけない状態になっています。増加し多様化するお客様の需要に対してネットワーク化することで応えられるのではないかと考えています。またそうしないと日本のコンピューターシステム産業が発展していかないと思うのです。

私は50歳の時、気力が持つのは後10年だろうと思って創業を決心しましたがすでにその10年が過ぎてしまいました。なかなか難しいのですが早々にこの社長を譲り協会設立に力を注ぎたいと真剣に思っています。